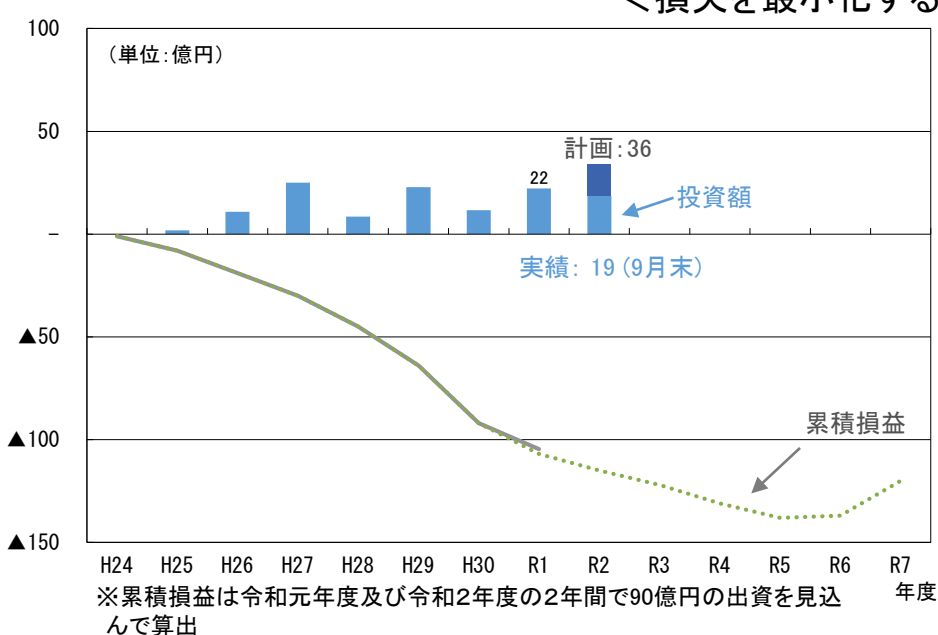


- 新経済・財政再生計画改革工程表2018(平成30年12月20日経済財政諮問会議決定)において、「各官民ファンド及び監督官庁が累積損失解消のための数値目標・計画を策定し、2019年4月までに公表」することとされたことを踏まえ、昨年4月に投資計画を策定・公表し、同年11月には、その計画の進捗状況を検証しました。その結果、2019年12月、監督官庁である農林水産省において、A-FIVEについては、2021年度(令和3年度)以降は新たな出資の決定を行わず、可能な限り速やかに解散するとの方針が示されました。その上で、農林水産省より損失を最小化するため投資計画の見直しを行うように指示を受けたことから、2020年5月に「損失を最小化するための投資計画」を作成しています。
- 本資料では、2020年度央(2020年9月末)時点の実績に基づき、上記の投資計画の進捗状況をフォローアップしました。

<損失を最小化するための投資計画>



(単位:億円)

	2020.3末		2020.9末		2021.3末
	計画	実績	計画	実績	計画
投資額	54	22	—	19	36
累積損益	▲107	▲105	—	—	▲115

(参考)

・2021年度(令和3年度)以降は新たな出資の決定を行わず、解散期限である2025年度(令和7年度)まで、A-FIVEが回収業務を行うことで損失の最小化に努めることとし、令和7年度末の累積損失は、120億円となる見込み。

<2020年度央時点の投資計画の進捗状況等>

- 2020年度央の投資額は19億円。
- 2020年度上期においては、本年5月に策定した計画の達成に向けて、すでに出資の検討が相当進んでいるものであって、政策的及び収益性が高い案件についての検討を進め、出資決定を行うとともに、不断の経費見直しに取り組んだ。
- 今後、新たな出資を行わなくなることに伴い、投資先への経営支援業務やEXIT業務を強化する体制に見直し、投資回収の最大化を図る方針。